

各位

上場会社名	株式会社 エスイー
代表者	代表取締役社長 森元峯夫
(コード番号)	3423)
問合せ先責任者	常務取締役管理本部長 塚田正春
(TEL)	03-3340-5500)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,420	67	98	61	8.01
今回発表予想(B)	6,737	2	13	△26	△3.50
増減額(B-A)	△682	△65	△84	△88	
増減率(%)	△9.2	△96.6	△86.5	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	5,914	65	68	20	2.67

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,160	29	39	20	2.60
今回発表予想(B)	4,842	109	100	71	9.30
増減額(B-A)	△317	80	61	51	
増減率(%)	△6.1	278.5	157.4	257.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	5,097	80	71	35	4.67

修正の理由

1. 第2四半期連結累計期間の連結業績予想

当第2四半期連結累計期間における連結業績予想は、連結対象子会社で売上高・利益共に業績未達が見込まれます。特に、株式会社アンジェロセックにおいて受注物件の売上が第3四半期以降にずれ込む見通しから、前回発表予想に比べ売上高は682百万円減少の6,737百万円、営業利益は65百万円減少の2百万円、経常利益は84百万円減少の13百万円、四半期純利益は88百万円減少の△26百万円となる見込みであります。

2. 第2四半期累計期間の個別業績予想

当第2四半期累計期間の個別業績予想は、前回発表予想に比べ売上高は317百万円減少の4,842百万円と見込まれます。これは、「建設用資機材の製造販売事業」のうち、「橋梁構造分野」で124百万円の増加、「レンタル・その他分野」で27百万円の増加であったものの、「環境・防災分野」では469百万円の減少となったことによります。

「環境・防災分野」減少の理由は、主力製品の『アンカー』の販売が伸びなかったことによります。その要因の第一は、国および地方公共団体の道路事業や災害対策事業に関連する公共工事の発注が低調であったことを受けて、当社製品の法面アンカーの販売も低調に推移したことによります。なお、今後は景気対策としての政府予算の増額補正や早期執行が期待されるところであります。要因の第二は、耐震補強に用いられる港湾施設向けの非法面アンカー供給の大型物件(神戸ポートアイランド地区岸壁工事)の納入時期が第3四半期以降にずれ込む見通しのためであります。

利益面では、工場原価の削減努力による売上総利益率の改善に加え、販売費および一般管理費の削減努力が奏効し、営業利益率の改善に繋がりました。しかしながら、営業外費用では「為替差損」20百万円の発生、特別利益では「国庫補助金収入」36百万円の発生も見込まれることから、営業利益は80百万円増加の109百万円、経常利益は61百万円増加の100百万円、四半期純利益は51百万円増加の71百万円を見込んでおります。

3. 平成23年3月期通期(連結)の業績予想

平成23年3月期通期(連結)の業績予想につきましては、第3四半期以降での市場動向および災害等に対する予算執行状況等、業績に与える影響が依然として不透明なことから、現時点では修正を行っておりません。今後精査し、見通しが明らかとなった時点で速やかな開示を行ってまいります。

(注)上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上